



▲ごしん寺のさくら（よこ田）
 およそ300年前からあります。近くの「よこ田じんや」あとのサクラは、このたねがこぼれて生えたそうです。



▲ごしん寺のほうかんしゃかによらいざぞう（よこ田）
 頭にかんむりをかぶったぶつぞうで、この寺ができたころからあります。



▲えいせん寺のこうようさん（長沼町寺前）
 450年ほど前からあり、高さが38mもあります。



▲ほこつき神社本でん（みやもと）
 千年ほど前にたてられた古く大きな神社で、ほかの町や村からもたくさんのおまいりにきます。



▲ほこつき神社たいこじし（みやもと）
 4年に一度のおまつりで行われます。8人の人が中に入った「しし」が、ふえやたいこの音に合わせておどりながらすすみます。



◀いわさき山（木のさき）
 700年ほど前から、おさむらいなどがしあわせになるのをねがい、ここにきて「とう」や「ぶつぞう」を作りました。